LOM 名

基本情報

事業名

わんぱく相撲大阪市大会

目的

- ・社会保障費が国家予算の3分の1を占める事態になっている。
- ・現役世代とその予備軍(子どもたち)がより重い負担をしなければな
- ・日本の人口が減少傾向にあり、労働力の確保が課題。
- ・新技術の発達によって、今まではあった人間が活躍出来る場が奪われ る可能性がある。
- ・子どもたちは、将来的な負担に絶望し、将来自分が活躍出来るのかと いう不安を抱えている。

【目的】

- 1. 社会保障費の削除。
- 2. 労働力確保のためより長く働けるようにする。3. 社会全体で子どもの成長を支えることの必要性を感じてもらう。
- 4. 子どもが成長出来る環境を整える大人を増やす。

開始日※日付で記載

終了日※日付で記載

事業対象者

- ・大阪市内の国立、私立、公立小学校1年生~6年生(男女)
- ・大阪に住み暮らす大人

SDGs の該当項目

該当項目を1つのみ選択

すべての人に健康と福祉を

発展段階

Active Citizen Framework 「展開」の項目での3項目の発展段階から 選択 ①健康な身体と精神 ②教育と経済力強化 ③平和・繁栄・持続

健康な身体と精神

概要

手法(解決に至る施策)

我々の事業では、(1)大人たちの意識の変革、(2)子どもたちが目指すべき目標の設定、(3)子どもたちへの環境の整備と子どもたちの成長というサイクルを経るために、SDGs の 1 つのゴー ルである「すべての人に健康と福祉を」を達成するため、以下の4 つのイベントを行う健康フェスを開催しました。

- ・こどもの相撲大会(写真②)。
 ・地域と協力し、健康な肉体・精神を育むための方法を教えてくれ るブースの出展(写真③)
- ・体力測定出来る場の提供(写真4)
- ・障がい者スポーツのボッチャ体験ブースの設置(写真「プログラ ムの長期的な影響」③)。
- 4つの施策において、以下の3点をポイントとして事業を実施しま

した。
① 大人たちの実感してもらう
そもそも、まず、子どもたちだけではなく大人たちにも、自らの現状に目を向け、より健康な身体と精神を獲得したいと思わせる ことが大切です。

- 我々は、そのために、
 ・わんぱく相撲でひたむきに頑張る子ども達の姿を見てもらい、
 忘れかけていたひたむきさを思い出して貰う
 - ・体力測定を行い世代別平均と比較することで自分の現状を知 ってもらう
- ・障害者スポーツであり、パラリンピックに採用されているボッチャを体験してもらうことで障がい者の健康や福祉へ思いを 馳せて貰うと共に、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、 誰もが活躍できる社会を実現することは可能であることを実感 してもらうということを行いました。
- 子どもたちの大人への憧れ
- 大人たちが①の取り組みを行う過程で,子どもたちは,
 - ・大人たちが自分に出来ないことをたやすくできるこ

申請担当者名

Basic Information

Name

Let's Get Healthy OSAKA!

Purpose

[Background]

- The social security expenditure accounts for one-third of the national budget.
- Actively working people and children must bear a heavier burden.
- Since the population of Japan is on a downward trend, securing labor force is an issue.
- · Due to the development of new technologies, there is a possibility that the place where human beings can be active can be deprived.
- Children despair of the burden of the future and have anxiety about whether they can be active in the future.
- 1. To reduce the social security expenses.
- 2. To create an environment for people to work longer to secure labor force.
- 3. To help people recognize the need to support children's growth throughout the community.
- 4. To increase the number of adults who can prepare the environment for children to grow.

Start date

JCI ウェブフォームは、カレンダーから選択方式なので記載不要

End date

JCI ウェブフォームは、カレンダーから選択方式なので記載不要

Target

- Boys and girls from national, private and public elementary schools
- Adults living in Osaka city.

Sd goal

Goal 3: Good health and well-being.

Development stage

"Health and Wellness" • "Education and Economic Empowerment"・"Peace, Prosperity, and Sustainability"から選択

"Health and Wellness"

Overview

- 1. Method (Measures leading to solution)
- In our program, we underwent a cycle of the followings:
- 1. Changing adults' consciousness.
- Setting goals children aim for.
- 3. Improving the environment for children's growth. In order to achieve one of the SDGs, "good health and well-being", we held a health festival including the following 4 events:
- · Kids' Sumo Tournament (Photo #2).
- · Exhibiting a booth that shows how to nurture a healthy body and mind in cooperation with the community (Photo #3).
- · Providing an opportunity to measure physical fitness (Photo #4).
- · Setting up a booth where disabled sports, Boccia, can be experienced (Photo "Long-term impact of the program" #3).
- JCI Osaka implemented this program with the following 3 points:
- 1. The need for adults to realize the followings.
- It is important that not only children but also adults understand their own situation and acquire a healthier body and mind. To that end, JCI Osaka
- · Let adults watch children working hard in sumo wrestling and remember their dedication.
- Got participants to know their current situation by measuring their physical fitness and comparing it with generational averages.

 Let them experience Boccia which is one of disabled sports and
- adopted for the Paralympic Games.
- · Let them think about the health and welfare of disabled people, and the possibility of achieving the community where everyone can work actively regardless of gender, age, and disability.
- 2. Children's admiration for adults.
- Through seeing adults doing the above-mentioned efforts,

- ・大人たちが自分の現状を見て、より高みを目指そうとする姿 勢を見せてくれること
- 障がい者でも、健常者に負けないものや健常者よりも実行 出来ることがあり、障がいがあろうとなかろうと誰もが活躍出 来る社会作ることが出来ることを実感します。

その結果, このようなひたむきな大人になりたいということや 自分の将来には誰もが活躍出来る社会が待っているという期待 を持って貰うような仕組みを実践しました。

を持って貰うような仕組みを実践しました。
③ 大人による環境づくりのサポート
①の取り組みの過程で、大人たちは、子どもがより、明るい未来
に向けて頑張れる環境をつくってあげる必要性を実感します。その環境を整えるためのヒントとして、我々は、
・ 健康に関わるブースを出展することで、健康な身体と精神を
獲得するために何をすれば良いのかのヒントを与えました。
・ わんぱく相撲を継続的に行うことで、来年へどのような工夫
をすれば良いのかを考えさせるきっかけを提供しています。
・ 子どもたちと大人が一緒に体力測定・ボッチャを行うことで、
そどもたちにどのような環境を提供すればより成長につかがあの

- 子どもたちにどのような環境を提供すればより成長につながるの かを考えさせるきっかけを提供しています。

効果(持続可能な解決)

結果として、再度、大人たちは、①に立ち返り、子どもたちに明るい 未来を示すために、自らの健康・健全な精神をより育もうとします。

それを見た子どもたちが、大人たちへ憧れ、より未来への期待を膨ら ませ, 自らの健康的な肉体や精神を育べく動き出します。

大人は, その子どもたちの逞しい身体を作る環境を作り, その結果, 子ども達は健康な身体と精神を身に付けます。

そして、その子ども達が大人となり、今度は、自分たちがその子ども 達に逞しい身体を作る環境を与えます。

以上のような前向きかつ持続的な循環を起こすことが出来るという のが, 我々の事業です。

目的・財務計画・実施 このプログラムの長期的な目的を記述してください。

あらゆる年齢のすべての人の健康な生活を確保し、福祉を増進すること により、地域社会を活性化すること

・逞しい体づくりをする場を提供する。

・達しい体づくりをする場を提供する。 地域社会の次代を担う子供に、国技である相撲の大会を通じて、未来を切り拓く逞しい体づくりをする場を提供する。 ・健康で健全なライフスタイルへの意識を高める。

体力測定を通じて、現在のライフスタイルとその結果である測定値を 把握することで、ライフスタイル改善への意識を高める。

・福祉参加を増進する。

障害者スポーツのボッチャを体験することで、参加者が福祉への理解を 深め、福祉参加を増進する。

このプログラムが、どのように JCI 行動計画に準じているかを記述し てください JCI Plan of Action を参照して、インバクト Impact (影響力)・モチベート Motivate (意欲)・インベスト Invest (投資)・コラボレート Collaborate (協働)・コネクト Connect (つながり) に ついてそれぞれ記載してください

«IMPACT»

本事業による相撲大会、体力測定、健康関連ブース出展、障害者スポーツのボッチャ体験は、SDGsの目標でもある「すべての人に健康と福 祉を」にもつながっている。

また、37回継続する本事業は既に地域社会に根付いている。 (大人の当日来場者 1700 名、子供の当日来場者 1550 名、LOM メン

バーの当日参加者 380 名) さらに、体力測定、ブース出展、障害者スポーツのボッチャ体験を加えて本年度リニューアルした本事業は、他の地域にも広がっている。これは、地域社会自らが持続可能なインパクトを達成することを可能にし た結果である。

children realized the following things:

- Adults could easily do what children could not do.
- Adults had motivation to develop themselves and show their attitude to children.
- There were things that people with disabilities could do better than healthy individuals and the community where anyone can be active regardless of disability could be created.

JCI Osaka helped children harbor a desire to be adults with dedication and achieve a community where everyone can play an active part in the future.

3. Support for environmental creation by adults.

In the process of the above-mentioned efforts, adults realized the need to create an environment where children can work harder for a brighter future. As a hint to prepare its environment, JCI Osaka did the followings:

- Gave hints on what to do to acquire a healthy body and mind by exhibiting a booth with health as theme.
- · Provided opportunities to think about what kind of ingenuity should be done next year by continuing to hold sumo wrestling programs.
- Provided opportunities for children and adults to think about what kind of environment should be created in order to promote children's growth by measuring physical fitness and playing Boccia together.

2. Effect (sustainable solution)

Looking back their above-mentioned efforts, adults try to acquire their own healthy body and mind to show a bright future to their children.

The children who saw the dedicated adults have admiration for them, increase a sense of expectation for the future, and develop their own healthy body and mind.

Adults create an environment where children's strong body can be developed. As a result of this, the children acquire a healthy body and mind.

And the children will be adults. This time they give their children the environment so that they can build a strong body. Our program is able to make positive and sustainable circulation as above.

Objectives, Planning, Finance and Execution What were the long-term objectives of this program? ×200 単語まで

The objective of this program is to revitalize the community by securing a healthy life for all people of all ages and promoting welfare. To that end, JCI Osaka does the followings:

- · Provides a place for children who will be responsible for the next generation of the community to create a strong body through Japan's national sport, sumo wrestling.
- · Increases participants' awareness of lifestyle improvement by measuring physical fitness and grasping the current lifestyle and the measurement result.
- ·Helps participants deepen their understanding of welfare and promote welfare activities through their experiencing disabled sports, Boccia.

How does this program align to the JCI Plan of Action? *200 単語まで

«IMPACT»

In this program, JCI Osaka conducted the sumo tournament, the physical fitness measurement, the health related booth exhibition, and disabled sports, Boccia. And it leads to one of the SDGs, " good health and well-being".

In addition, this program has been held 37 times continuously and has already taken root in the community. (1,700 adults, 1550 children and 380 JCI Osaka members

participated in the program.)

Furthermore, JCI Osaka renéwed this program by including physical fitness measurement, booth exhibition, one of disabled

«MOTIVATE»

本年度、プログラム内容の大幅な見直しを行っている。具体的には、体力測定や、ブース出展、障害者スポーツのボッチャ体験を加えて SDGs の目標でもある「すべての人に健康と福祉を」に沿った事業内容 にブラッシュアップしている。その結果、参加対象者の健康、福祉への意識が高まるとともに、次世代の能動的市民が意欲的に参加することを可能とする。

«INVFST»

本事業は多数の企業から協賛金を集めており、確かな投資先として認知されている。

(資金協賛 930,000 円 29 社、物品協賛 4 社、ブース出展 6 個) また、本年度はテレビ 2 社、新聞 2 社にて報道され、事業のさらなる認知度のアップに貢献している。認知度のアップにより、長期的に事業を継続することが可能となり、ひいては長期的な目的の達成を可能とする。

«COLLABORATE»

JCI 大阪の呼びかけにより、同じ目標に向かう多くのパートナーと協力して本事業を実施している。

- ・大阪市
- ・大阪市教育委員会
- ・大阪市立小学校
- ·公益社団法人大阪府柔道整復師会
- ・大阪市相撲連盟
- ・協賛企業(資金協賛 29 社、物品協賛 4 社、ブース出展 6 個)

«CONNECT»

本事業は、SDGs の目標でもある「すべての人に健康と福祉を」にもつながることで、単なる相撲コンペティションではなく、社会的意義のある地域イベントとなっている。社会的意義のある事業を通じて各パートナーが協力することにより、その信頼関係と繋がりはより強固なものとなる。その中心的役割を大阪 JC が担っている。

また、事業を通じて、多数の来場者、協賛企業等と実際に連携することにより、JCI・企業・学校・団体など「立場」を超えた繋がりを構築することができる。

予算計画通りにプロジェクトを実行できましたか?

予算上の工夫や、予算の内訳の概算を記述してください

事業は予算6,700,000円で、予算計画通りに実行することができた。 事業の社会的意義や、事業内容に賛同してもらった多くの企業から協賛 金を集めることにより、予算上の経費を節約することに成功した(資金 協賛930,000円・29社、物品協賛4社、ブース出展6個)。 また、SNS等による事前広報活動を積極的に行い、地域社会からの認 知度を上げることにより、協賛企業から協賛金を集めやすくする工夫を した。

このプロジェクトはどのように JCI ミッション・ヴィジョンを推進し ましたか?

ミッションとヴィジョンに分けて記載

ミッション: より良い変化をもたらす力を青年に与えるために、発展・成長の機会を提供すること

ヴィジョン: 若き能動的市民の主導的なグローバル・ネットワークになること

«JCI Mission»

本年度は、プログラム内容の見直しを行っている。SDGs の目標に沿った事業へブラッシュアップする機会を提供することで、事業を構築する大阪 JC メンバーは、地域の健康・福祉問題を真剣に考えることができる。

また、事業を通じて参加者である子供、大人、企業、学校、地域団体に、地域の健康・福祉問題の問題提起をすることができる。

さらに、事業を通じて JCI・企業・学校・団体など「立場」を超えたネットワークを構築することができる。このネットワークが SDGs 推進にとって主導的役割になる。

これらの結果、地域一体となった SDGs への取り組みが行われるという positive change が起こる。

このようにして JCI Mission を推進している。

«JCI Vision»

本事業では、大人・子供・男性・女性・健常者・障害者など幅広い層の参加があり、leading global network になるための礎となる、多様

sports, Boccia. And this program has been held in other areas. This is the result of the local community achieving a sustainable impact.

«MOTIVATE»

JCI Osaka reviewed the contents of the program significantly this year. We brushed up the contents of the program in line with one of the SDGs, "good health and well-being". Specifically, we included physical fitness measurement, booth exhibition, and disabled sports, Boccia. As a result of this, the awareness of the participants' health and welfare will increase, and it will be possible for active citizens of the next generation to participate positively.

«INVFST»

This program collects sponsorship money from a number of companies, and is recognized as a reliable investment destination.

(Sponsorship money of 930,000 yen from 29 companies, goods from 4 sponsors, and booth exhibition from 6 sponsors.) Also, it was covered on television twice and reported in two newspapers, which contributed to raising the visibility of this program. Raising the visibility will make it possible to hold the program continuously and eventually to achieve our objectives sustainably.

«COLLABORATE»

JCI Osaka implemented this program in collaboration with many partners heading toward the same goal. The partners are the followings:

- · Osaka city
- · Osaka City Board of Education
- · Osaka municipal primary schools
- · Osaka Judo Therapist Association
- · Osaka City Sumo Federation
- · Sponsored companies (Sponsorship money from 29 sponsors, goods from 4 sponsors, and booth exhibition from 6 sponsors.)

«CONNECT»

This program is not just for a sumo tournament, it is a community event with social significance, and leads to one of the SDGs, "good health and well-being". As each partner cooperated through this social meaningful program, its trust relationships and connection became deeper. JCI Osaka is playing its key role.

Moreover, by collaborating with many visitors and sponsors, JCI Osaka is able to create a network of JCI, companies, schools and organizations regardless of their positions.

Was the budget an effective guide for the financial management of the project? ※150 単語まで

The total budget was 6,700,000 yen. JCI Osaka was able to implement the program according to the planned budget. We successfully saved expenses by collecting sponsorship money from a number of companies that agreed with the social significance and the contents of the program. (Sponsorship money of 930,000 yen from 29 sponsors, goods from 4 sponsors, and booth exhibition from 6 sponsors.)

In addition, we devised to make it easy to collect sponsorship money from sponsors such as actively conducting preliminary publicity activities with the use of SNS etc., and by raising awareness from the community.

How does this project advance the JCI Mission and Vision? ※200 単語まで

【参考】

JCI Mission: To provide development opportunities that empower young people to create positive change

JCI Vision: To be the leading global network of young active citizens

«JCI Mission»

We are reviewing the contents of the program this year. We provide opportunities for JCI Osaka members who create this program to brush up the program in line with SDGs so that they can consider local health and welfare issues.

In addition, it is possible for participating children, adults, companies, schools and local organizations to bring up local health and welfare issues.

Furthermore, through the program they can create a network of JCI, companies, schools and organizations regardless of their positions. This network will play a leading role in promoting SDGs. As a result of these, many local citizens will work together on SDGs and make positive change

In this way we promote the JCI Mission.

«JCI Vision»

Different kinds of people such as adults, children, men, women,

性に対する寛容性をメンバーに醸成することができる。

また、事業を通じてJCI・企業・学校・団体など「立場」を超えたネットワークを構築することができる。このネットワークこそが SDGs 推進にとって、active citizen を巻き込む主導的機関となる。 このようにして JCI Vision を推進している。

healthy people and the disabled participated in this program. So we cultivate members' capacity to accept diversity so that they can become a leading global network.

In addition, through the program they can create a network of JCI, companies, schools and organizations regardless of their positions. This network will get active citizens involved in this program and play a leading role in promoting SDGs. In this way we promote the JCI Vision.

LOM メンバーの事業参加人数を記述してください。(数字で記載)

380 人

LOM メンバーの参加率を記述してください(%で記載)

40.4%

LOM メンバーの主な役割を記述してください。

大阪 JC の参加メンバーは、JCI アクティブシチズンフレームワークに 沿って事業を構築し、各自の役割を遂行した。

・地域の需要の分析

LOM メンバーは、継続事業であることを活かして、前年度の事業より引き継がれた課題や、地域の需要の分析を行った。具体的には、前年度 のアンケート結果を分析し、地域が求めている健康や福祉問題という課 題を認識した。

・持続可能な解決策の策定

LOM メンバーは、持続可能な解決策の策定を行った。具体的には、地域が求めている健康や福祉に関する新規企画の立案(体力測定、ボッチャ体験、健康関連ブース出展)、パートナーとの連携を滞りなく行うための広報計画の作成、各種運営マニュアルの作成を行った。

・パートナーシップ構築 LOM メンバーは、パートナーシップ構築のための広報活動、パートナ - との打ち合わせを繰り返し行った。 具体的には、パートナーシップを 増やすべく、ホームページ、各種 SNS 等インターネットを利用した広報活動を行った。また、小学校教員、相撲連盟役員、協賛企業を訪問し である。また、小学校教育、信葉産品校育、協質正案を訪问しての事業趣旨の説明、協賛金の募集を行うことにより、パートナーの協力を得ることができた。さらに、朝礼ジャックを通じて小学生へ直接コンタクトを行い、事業への理解を深めてもらう取り組みを行った。

LOMメンバーは、当日の運営を行った。具体的には、受付や、案内等の参加者への対応、相撲連盟・協賛企業等の他団体の誘導や、連携を行 った。

LOM メンバーは、事業の結果を検証し、本年度の結果や、次年度への課題をLOM 内に共有した。具体的には、本年度のアンケート結果の分 析、財務実施状況の報告等を通じて、次年度へ向けた取り組みや、問題 提起を行った。

Membership Participation

By number, how many members were involved in this program? ※2 単語まで

380 members

By percentage how many members of the Local Organization were involved in this program? ※1 単語まで

Describe the main roles of the participating members in this program.

※300 単語まで

We JCI Osaka members created a program in line with JCI Active Citizen Framework and played our own role.

Analysis of local demand.

Taking advantage of holding the program continuously, we analyzed the tasks taken over from the previous year's program and the local demand. Specifically, we analyzed the results of the previous year's questionnaire and recognized the local health and welfare issues.

Formulating sustainable solution.

We formulated sustainable solution. Specifically, we did the followings:

- 1. Created a new plan on the health and welfare that the community is seeking such as physical fitness measurement, experience of Boccia, exhibition of health related booth.
- 2. Prepared a public relations plan to ensure cooperation with partners without delay.
- 3. Made various operational manuals.

Building partnership.

We repeatedly made public relations activities for building partnership and had meetings with partners. Specifically, in order to increase the number of partners, we conducted public relations activities using the Internet, such as the homepage and various SNS. In addition, we were able to obtain cooperation from our partners by visiting elementary school teachers, Sumo Federation officials and sponsorship companies, explaining the purpose of the program and calling for sponsorship. Furthermore, we made direct contacts with elementary school students through morning meeting and made efforts to deepen their understanding of the program.

Implementation of the program.

We implemented the program on the day. Specifically, we received participants, guided them, and cooperated with organizations such as Sumo Federation and sponsorship companies.

Verification of the program.

We verified the results of the program and shared the results and issues for the next fiscal year with members. Specifically, through efforts such as analyzing the results of the questionnaire in this fiscal year, reporting the financial implementation situation, etc., we brought up issues and suggested new initiatives for the next fiscal year.

このプログラムの地域社会的影響を、どのように測りましたか?

Community Impact

How did the Local Organization measure community impact for this program? ※200 単語まで

地域社会への影響は、参加者の行動とアンケートによって測定された。

【参加者の行動】

大人たちは子どもたちの勝負に真剣に声援を送り、その頑張りを称えて いた。

体力測定では、自らの現在の身体の状況を知ることで、「これではいけ ない」と思わず漏らしていた

ボッチャという競技を初めて知った者が大半であったが,簡単なレクチ ャーを受けると、性別・年齢・障がいの有無を問わず楽しみ、活躍して · いた。

【アンケート】

有効回答を行った者の93%がわんぱく相撲を観戦して、子ども達を成 長させるためには、地域や立場を超えた人達が集まり連携できる環境が 必要だと感じた。

有効回答を行った者の96%が体力測定企画に参加することで、子ども の目標として、自らも健康で逞しい身体をつくる必要性があると感じ

有効回答を行った者の91%が障がい者スポーツ「ボッチャ」を体験す ることで、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、誰もが活躍できる 社会を実現することは可能であると感じた。

・真剣勝負で、こどもの涙に成長を感じました。ありがとうございます。・相撲だけでなく、さまざまなイベントやそこにいる大人達との交流が、 子どもに大きな影響を与えていると思うので、とても感謝です。

このプロジェクトが与えた地域社会への影響を記述してください。

このプロジェクトを実施した後のアンケートにおいて, わんぱく相撲、体力測定企画、ボッチャ体験、各種ブースに参加することで、逞しい身体をつくる環境をつくっていくことが、子どもたちにとって重要である と感じた大人が,有効回答を行った者のうち96%を占めた まず,このような気づきを与えられたことが,目標達成の重要な第一歩

である。 実際, 相撲の練習会が各所で行われる等, 逞しい身体を作る環境が提供

されつつある。 また、ブース出店において、パーソナルトレーニングのブースがあったが、時間が経つにつれ、多くの人が当該ブースに赴いていたことは、まずは自分が逞しい身体をつくらねばならないと感じ、実行をしようとし ていることの現れであろう。

LOM への影響

このプロジェクトの運営によって、LOM が得たことを記述してくださ

大阪 JC の LOM 参加メンバー380 人は、事業を通じて直接的、間接 gに、JCI アクティブシチズンフレームワークを学ぶことができた。 ・地域社会が抱える高齢化や経済格差による健康・福祉問題に対して

·SDGs の目標でもある「すべての人に健康と福祉を」に沿った事業 計画を策定し(展開)

・JCI 大阪が主導的な役割を果たすことで、地域の多数の利害関係者 と協力し(パートナーシップ)

・多くの能動的市民の参加のもと事業を遂行し(実行)

・その結果を、大阪 JC の LOM として分析し、数値化して測定した

大阪JCのLOM参加メンバー380人は、事業の運営の一部、又は全てに携わることによって、JCIアクティブシチズンフレームワークに沿った事業であることを体感し、直接的・間接的にJCIアクティブシチズン フレームワークを学ぶことができた。

このプログラムによって、どのように JCI ミッションを推進しました か?

ミッション:より良い変化をもたらす力を青年に与えるために、発展・ 成長の機会を提供すること

本年度は、プログラム内容の見直しを行っている。SDGs の目標に沿った事業へブラッシュアップする機会を提供することで、事業を構築す る大阪 JC メンバーは、地域の健康・福祉問題を真剣に考えることがで きる。

また、事業を通じて参加者である子供、大人、企業、学校、地域団体に、地域の健康・福祉問題の問題提起をすることができる。 さらに、事業を通じてJCI・企業・学校・団体など「立場」を超えた

ネットワークを構築することができる。このネットワークが SDGs 推進 にとって主導的役割になる。

これらの結果、地域一体となった SDGs への取り組みが行われるとい う positive change が起こる。

このようにして JCI Mission を推進している。

The community impact was measured by participants' behaviors and questionnaires to them.

[Participants' behavior]

Adults seriously cheered on children's game and felt proud of their hard work

In physical fitness measurement, they grasped their current physical fitness and thought that they should do something to improve it.

Many of the participants didn't know Boccia, but when receiving a simple lecture, they enjoyed it regardless of gender, age, and disability.

[Ouestionnaires]

Through watching children's sumo wrestling, 93% of those who made effective responses felt that it was necessary to have an environment where people beyond community and position can cooperate in order to grow children.

Through the physical fitness measurement, 96% of those who made effective responses felt that it was necessary to create a healthy and strong body and become role models for children. Through experiencing the disabled sports, Boccia, 91% of those who made effective responses felt that it would be possible to realize a community where everyone can be active regardless of gender, age, and disability.

"I felt the growth of my child when he/she shed tears with serious fight. Thank you very much.

"I very much appreciate this program because it made a great impact on my child through his/her exchanging with adults not only in sumo wrestling tournament but also in various events.

Describe the actual community impact produced by this project ※300 単語まで

In the questionnaire after the program, through the sumo tournament, the physical fitness measurement, experiencing disabled sports, Boccia, and various booths, 96% of those who made effective responses felt that it was necessary to create a healthy and strong body for children.

First of all, giving such awareness to participants is an important first step in achieving the goal.

Indeed, as sumo practice sessions are taking place in various places, many opportunities to create a strong body are provided. Also, a personal training booth was exhibited, and as time went by, many people visited the booth. It shows that they feel the necessity to make a strong body, and try to do so

Impact on Local Organization

How did the Local Organization benefit from running this project? ※200 単語まで

380 JCI Osaka members who participated in this program were able to learn the JCI Active Citizen Framework directly and indirectly. They did the followings:

· Examined local health and welfare issues such as aging population and economic disparity. (Analyze)

· Formulated a program plan in line with one of the SDGs, "good health and well-being". (Develop)

 Played a leading role and cooperated with many stakeholders in the community. (Partnership)

• Implemented the program under many active citizens'

participation. (Execute)

· Analyzed the results and quantified them. (Review) In this way, the 380 members understood that this program was in line with JCI Active Citizen Framework and learned the JCI Active Citizen Framework directly and indirectly.

How did the program advance the JCI Mission? ※200 単語ま

【参考】JCI Mission: To provide development opportunities that empower young people to create positive change

We are reviewing the content of the program this year. We provide opportunities for JCI Osaka members who create this program to brush up the program in line with SDGs and to consider local health and welfare issues.

In addition, it is possible for participating children, adults, companies, schools and local organizations to bring up local health and welfare issues.

Furthermore, through the program they can create a network of JCI, companies, schools and organizations regardless of their positions. This network will play a leading role in promoting SDGs. As a result of these, many local citizens will work together on SDGs and make positive change.

In this way we promote the JČI Mission.

このプロジェクトによって得られると予測される長期的な影響を記述 してください。

このプロジェクトにより、次代を担う子どもたちとその父兄である大人 の健康な生活を確保し、福祉参加を増進することで、地域活性化が生じ るものと予測される。

逞しい体づくりをすることができる。

このプロジェクトに参加した子どもは、国技でありかつ身近にできる 競技である相撲を通じて、体力作りをすることができる。すでに、過去の大会に参加した能動的市民の団体では、大会に向けた練習会が開催さ れている。大会に参加するのみではなく、地域の練習会を通じて1年間 を通して逞しい体作りをする場が提供される。このように、大会を継続 的に開催することで、地域一体となった長期的な逞しい体づくりへの取 り組みが実践されることとなる。

・健康で健全なライフスタイルへ改善される。 このプロジェクトに参加したすべての大人と子供は、現在のライフスタイルとその結果である測定値、全国平均値との差を把握することがで きる。現状を正しく認識することで、ライフスタイル改善への動機づけとなる。また、継続的に事業を継続することで、翌年度には前年度から の改善結果を把握することができる。改善結果は、さらなる改善への動 機づけとなり、長期的に参加者の健康で健全なライフスタイルの改善に 繋がることとなる。

・福祉参加を増進する。

障害者スポーツのボッチャを体験することで、参加者が福祉への理解 を深めることができる。パラリンピックに採用されているボッチャを体験してもらうことで障害者の健康や福祉へ思いを馳せて貰うと共に、障 がいの有無にかかわらず、誰もが活躍できる社会を実現することは可能であることを実感してもらうことができる。その結果、長期的に福祉へ の理解、福祉への参加を増進することができる。

このプロジェクトの改善点・改善策を記述してください。

※マイナスな表現はしないでください。前向きな改善点を記載しましょ

・インターネットテクノロジーのさらなる利用 運営面の効率化のため、さらにインターネットテクノロジーを利用する ことが考えられる。既にインターネットを利用し、効率的な参加申し込 みを実現できている。しかし、運営面では、Line グループ等の SNS を 利用することで、当日の運営をさらに効率化できると思われる。

・未就学児童の参加の検討

今回は就学児童が参加対象者であったが、未就学児童の参加を求めるア ケート結果が多かった。安全面の課題は残るものの、プロジェクトの 目的からすると、未就学児童の参加を検討しても良いと思われる。

What is the expected long-term impact of this project? ** 200 単語まで

This program is expected to revitalize the local community by securing healthy living of local citizens who lead the next generation, and promoting participation in welfare activities.

· A strong body can be made.

Children who participated in this program can improve physical fitness through a national sport, sumo. A group of active citizens who have participated in past events already hold practice sessions for the tournament. Not only through participating in the tournament but also through conducting practice sessions throughout the year, many opportunities to make a strong body are offered. In this way, efforts to build a strong body will be put into practice sustainably by holding the tournament continuously.

- · A lifestyle can be improved to be a healthy one. All adults and children who participated in this program can grasp the current lifestyle, the measured values, and the difference from the national average values. Correctly recognizing the current situation will motivate them to improve their lifestyle. By holding the program continuously, we can grasp the result of improvement from the previous fiscal year. The improved results motivate us to further improve the program, resulting improvement of a healthy lifestyle of participants in the long term.
- · Participation in welfare activities can be promoted. Boccia is one of disabled sports and adopted in the Paralympic Games. By experiencing Boccia, participants can deepen their understanding of health and welfare of the disabled. At the same time they realize that they can achieve a community where everyone can be active regardless of disability, resulting in long-term understanding and promotion of welfare activities

What changes would you make to improve the results of this project? ※300 単語まで

- Internet technology can be used further. In order to improve the efficiency of the program, it may be possible to use Internet technology further. We already have access to the Internet, and can receive participants' entry efficiently. However, we think the program can be implemented more efficiently by using SNS such as Line group.
- · Preschool children's participation can be examined. We targeted elementary school students this time. However, the result of the questionnaire shows that many people ask for preschool children's participation. Although the issue of safety remains, we had better consider preschool children's participation because it is in line with this program's purpose







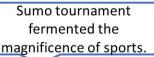
Impact on members and contribution to the JCI Vision 2

Osaka citizens enjoyed and leant the pleasantness of the exercise through the Sumo tournament and other projects.

Osaka citizens studied the greatness of the SDGs goal.

Children loved to learn how to play "Boccia".







All the generation in Osaka monitored their bodies.







Let's Get Healthy OSAKA!

Kid's Sumo 3rd

3rd May 2018









Planning 1

More than 3000 people living in Osaka gathered in a big hall and many boys and girls played Sumo wrestling with professional sumo judge.







Let's Get Healthy OSAKA!

Kid's Sumo 3rd May 2018 Tournament



「メンバーの参加」項目に添付する画像を下部に貼付してください







Impact on members and contribution to the JCI Vision 3

JCI Osaka learned the importance of healthy body and spirits through this project.

JCI Osaka members explained the project to kids in Osaka.

Members cleaned the hall after the project.





Members helped kids how to train themselves.

Members celebrated the success of the project.







Let's Get Healthy OSAKA!

Kid's Sumo Tournament 3rd May 2018









Impact on members and contribution to the JCI Vision 1

Increased the understandings towards the diversity and the global network through this project.

Adults and children enjoyed Sumo together



A boy and a girl leaned about a baby from an adult



Adults and children enjoyed Boccia together



Japanese and foreigner enjoy watching Sumo together





Let's Get Healthy OSAKA!

Kid's Sumo 3rd May 2018 Tournament



「地域社会への影響」項目に添付する画像を下部に貼付してください





Planning 2

Children and adults increased the awareness of the importance of their health through a various programs.





Measuring their weight and the amount of visceral fat.

Testing breathing capacity to check the healthiness of the lung.



Children and adults checked their muscle age with ab exercise.



Let's Get Healthy OSAKA!

Kid's Sumo Tournament 3rd May 2018









Planning 3

Osaka citizens foster a greater understanding of the feeling of the disable through the international sport for the disable, called "Boccia"

Volunteer taught how to play "Boccia"





Let's Get Healthy OSAKA!

Kid's Sumo 3rd May 2018 Tournament







Planning 4

Many NON JAYCEE participate our project "Wanpaku Sumo Tournament" in order to succeed it.

Volunteer staff painted a picture on the face of Osaka citizens





Winning prize were sponsored by a bakery in Osaka.

Professional staff of video and music





Rehabilitators taught heart massage



Let's Get Healthy OSAKA!



3rd May 2018



「LOM への影響」項目に添付する画像を下部に貼付してください







Planning 5

Several newspaper published the article about our project "Wanpaku Sumo Tournament".



Local newspaper "大阪日日新聞" (Osaka Nichinichi newspaper)

National newspaper "産経新聞" (Sankei newspaper)





Let's Get Healthy OSAKA!

Kid's Sumo Tournament

3rd May 2018









Planning 6

Several nationwide TV program broadcast our project "Wanpaku Sumo Tournament".







Let's Get Healthy OSAKA!

Kid's Sumo 3rd May 2018 Tournament



「プログラムの長期的な影響」項目に添付する画像を下部に貼付してください







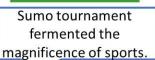
Impact on members and contribution to the JCI Vision 2

Osaka citizens enjoyed and leant the pleasantness of the exercise through the Sumo tournament and other projects.

Osaka citizens studied the greatness of the SDGs goal.

Children loved to learn how to play "Boccia".







All the generation in Osaka monitored their bodies.







Let's Get Healthy OSAKA!





JCI・
Junior Chamber International Osaka
一般社団法人 大阪青年会議所





Planning 1

More than 3000 people living in Osaka gathered in a big hall and many boys and girls played Sumo wrestling with professional sumo judge.







Let's Get Healthy OSAKA!

Kid's Sumo 3rd May 2018 Tournament

